

紙面から

教育随想

「城北中学校の頃」

愛知県土木部長

竹内 義人氏

羅針盤

みんなで作り上げる授業

算数・数学科指導員

栗田万砂夫

この人に聞く

誕生、ハイブリッドカー

藤井 雄一氏

特集

走れ、救助犬

愛知災害救助犬協会

ふれあい

ポケットに好奇心

広幡小学校 清松 治子

師弟同行

岡崎少年自然の家所長

矢作中学校 竹内 昭次
新實 克之

フォト・ヒストリー岡崎の教育

託児所となった小学校(昭和十三年)



月報

岡崎の教育

12月号

平成11年12月1日

発行/編集

岡崎市教育委員会

今月の学校紹介

～藤川小学校～



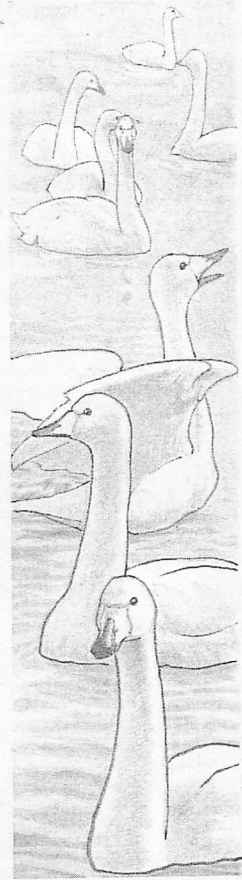
ふれあい・体験・感じる心



実ったね、紫麦



- 教育随想 -



城北中学校の頃



愛知県土木部長

竹内義人

私は、城北中学校の第一回の卒業生です。そんな御縁で、この欄への寄稿を依頼されたのではないかと思いますが、毎回の執筆者を拝見しますと立派な方々ばかりで、教育委員会の福應先生にも御断りをしたのですが、どうしてもということ、恐らく御受けしました。

私は、中学校としては、まず竜海中学校に入学し、二年生の時に、新しく城北中学校が出来たので、そこに転校しました。戦後の所謂ベビーブームで生徒数が急増したため、全国に新設校がたくさん出来た時代です。

ところが、二年生になって城北中学校に移っても、急場のことで、校

舎が出来ていません。そこで、私たち二年生は竜海中学校に「間借り」し、一年生は、連尺小学校の体育館を衝立で仕切つて教室にしています。職員室は、その体育館の演壇の上、緞帳の裏にありました。

そんな生活でしたが、当時の鈴木校長先生を先頭に、「新しい学校を作る」という意気込みは、大変なものでした。生徒はともかく、選りすぐりの先生方が、文字通り心血を注いでおられました。現教育長の伊藤田先生もおられましたし、特に、若い先生方が「新しい学校」の流れを作つていかれたように思います。

そんな雰囲気でしたから、先生方の情熱に押されて、生徒たちも随分

意気盛んだつたと思います。私は優等生(?)でしたが、先生方に大変な御迷惑をおかけした生徒たちでさえ、先生方との「心の絆」は、しっかり持つていました。三年生の時の担任、中村巽先生は、指導のため、自ら頭を丸められたこともありました。

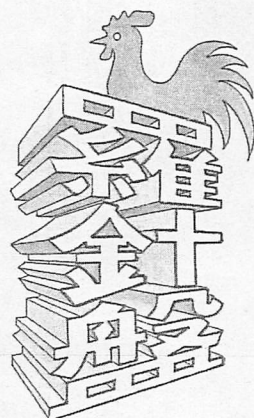
当時と比べて、最近の学校での事件や事故は、全く理解が出来ません。その背後に、心からの憎悪や「冷ややかなもの」を感じるからです。

私は、「建設省」という道を選びましたので、「心」の問題とは、比較的縁遠い世界で過ごしてきました。そして、よく「戦後の物質文明が心の荒廃をもたらし」と言われますが、決してそうではないように思います。

私たちの日々の生活は、まだまだそれ程豊かではありません。それどころか、環境問題や資源、経済の行詰まりなど、不安材料ばかりです。子供たちに、不安のない「豊かな未来」を指し示すことが、何よりも大切なのではないかと思います。

私たち「団塊の世代」も、あと七年で還暦を迎えます。当時の城北の先生方の万分の一程でも、子供たちに手本を示したいものです。

(たけうち よしひと)



みんなで作り上げる授業

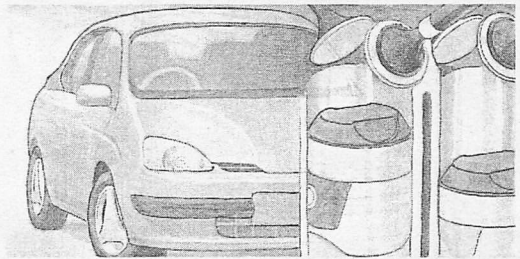
算数・数学科指導員

栗田 万砂夫

子供たちの個性を認め、伸ばしていくことはとても大切である。授業の中でも、一人一人の発言を認め、称賛していく場面をよく見かける。ただ残念なのは、個々の意見がそれぞれの立場で終わってしまったという場合が多いことである。もう一歩進んで、発言が絡み合い、練り上げられて、一つの結論に達するようになってほしい。また、活動するときには、みんなで一つのものを作り上げるような活動を工夫していきたい。

ある小学校で、ITで行われた授業でのことである。授業のねらいは「円が一点から等距離にある点の集合であること」をとらえさせることであつた。宝さがしの設定で、「木の根元から十センチメートルのところにある」というヒントを頼りに、地図上でその場所を探すのである。

ふるさとシリーズ この人に聞く



誕生、ハイブリッドカー

藤井 雄一 氏

環境に優しい自動車、ハイブリッドカーを街で見かける。この車は従来の車と違って、ガソリンエンジンと電気モーターの二つを使って動くところに特徴がある。

その開発チームの結成が九五年。当時、最高責任者の藤井さんは、九九年をラインオフ（自動車が世に出る時期）と考えていたが、トップは九七年に決定した。開発期間が大幅に短縮されてしまったのだ。それ以来、世界初のハイブリッドカー開発に向けて、チーム全員が全力を注いだという。

しかし、決して順調にいったわけではなかった。いくつかの難問を解決しながらも、量産される十日ほど前、バッテリーに大問題があることが分かった。

「もう、どうなるのかと思いました。とにかく、バッテリーシステムを一つ一つ全部チェックし直しました。量産される日までになんとかしなければ、車ができないんです。切羽詰まっていたから、みんな不眠不休で、必死でした。」

しつとりとした口調ではあるが、開発への血のじむような努力と技術者魂が伝わってくる。

そして、九七年末に地球温暖化防止京都会議に合わせて発表。

「振り返ってみると、ハイブリッドカーができるまで、薄氷を踏むことがほんとうに数多くありました。新しいものを開発するということは、トップの、リスクを冒しても挑戦する気持ちと先見性がなければ、絶対にできないと思います。」
「ハイブリッドカーというこれまでにない新しいものが開発できたのは、日本の基礎技術の高さと若い人たちの知恵と情熱、それにすさまじい執念があったからこそです。日本の若者のよさは、課題を



鮮明にし、自分のものにすることで、自ら追究するようになることです。彼らのやる気や使命感には、すばらしいものがあります。」

穏やかに話される言葉には、自らの仕事に対する誇りが感じられる。

「自動車の変革期にハイブリッドカーの開発に携わり、世の中に初めて送り出すことができました。一生に一度しかないことを思い切つてやらせていただいたことが大きな喜びです。」

一大プロジェクトを成し遂げた藤井さんの目には、未来の自動車がすでに映し出されているようである。

氏名 ふじい ゆういち
生年月日 昭和十五年八月二十九日
住所 細川町窪地七七一四三

子供たちは、思い思いに十センチメートルの場所に点をとるが、宝の場所がわからない。そこで、T1の教師が一枚の紙に、子供たちが予想した場所を書くように提案する。T2の指導の下、三十四名の子供たちが、宝があると思う場所に点をとつていくと、三十四個の点がおおよそ円と思われる形を描いた。三十四名の手によって作られたものが、見事に本時のねらいに迫るものになった。

この後、もう一つのヒント「地図の右上の端と中心とを結ぶ」を得たとき、子供たちは『右上の端』の意味が十分に理解できなかった。そのことを察知したT2は、すぐにT1に連絡し、右上の端を指差すことを指示した。こうして、子供たちは無事に宝を探し求めることができた。

このように、一つの目標に向かってみんなで作り上げていく授業は、子供たちにとっても自分たちの活動の跡が見え、やりがいのあるものになる。こうした授業を少しでも多く実践していきたいものである。

【推薦する専門書】

『数の悪魔』

晶文社
—算数・数学が楽しくなる12夜—

『恥ずかしくて聞けない数学64の疑問』

黎明書房

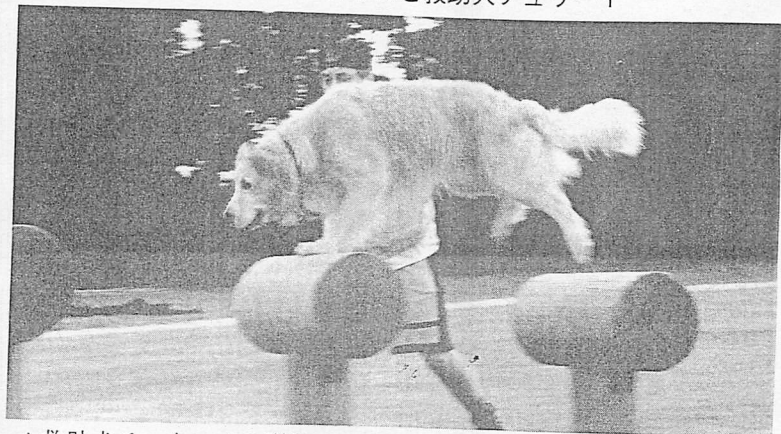
走れ、救助犬



愛知災害救助犬協会



▲救助活動を続けるトーマスさんと救助犬チュウーイ



▲救助犬チュウーイの訓練

阪神淡路大震災では約六千四百人もの尊い命が失われた。こうした人たちの中には、がれきに埋もれ救助を待ちながら息絶えた人もいた。救助活動に対して海外から協力の申し出もあったが、実際の活動には結び付かなかったケースもあったという。この災害に対する対応の未熟さを痛感した岡崎在住のトーマス・ベレゾフスキーさんは、私財を投じて愛知災害救助犬協会を設立した。

災害等により閉じ込められて危機的状況にある人間は、特有の匂いを発する。救助犬はこの匂いをかぎ分け、生存者を発見し、救助隊に知らせることができる。こうした能力を買われ、災害時のみでなく、行方不明者の捜索を警察から依頼されることもある。



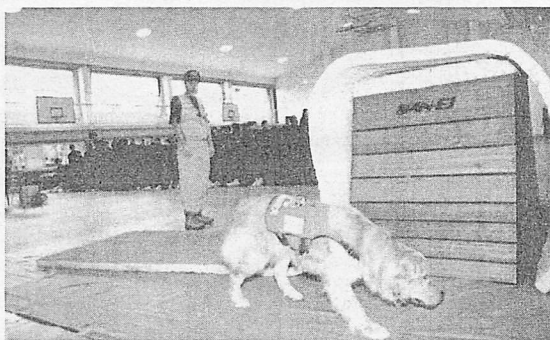
▲台湾大地震での活動（軍隊基地にて）



▲救助活動後の深夜の食事



▲倒壊した建物の中での捜索



◆岩津中学校での講演



九月の台湾大地震をニュースで知ったトーマスさんとそのスタッフは、救助犬チュウイーやガミーとともに現地に赴き、発生の翌日から捜索救助活動を行った。ボランティアであるため、渡航費用、宿泊費用等、活動にかかわる一切の費用は自己負担であった。

活動の舞台は、倒壊しかけたビルの下やがれきの中であり、常に危険を伴う。犬だけでなく自分自身も身の危険を感じる事が度々ある。さらに、人命にかかわることであり、昼も夜も関係なく活動しなければならず、精神的にも肉体的にも大きな負担を強いられることになる。こうした状況の中でも十分に活動できるよう、日ごろからの訓練を怠らない。休日になると、被災地の状況を想定し、足元の不安定な廃材置き場を借りての訓練を行っている。

現在、愛知県より特定非営利活動法人（NPO）の認証を受けているが、必要な機材購入や活動のための資金は不足しており、休日に街頭募金を行うこともあるという。

ふれあい

ポケットに好奇心

広幡小学校

清松 治子

「先生、A君がカエル持つてる。ポケットに持つてる。」目をくるくるさせながら、女の子たちが言いに来た。

A男は生き物が大好きだ。毛虫やヤモリを教室に持ち込むことも珍しくない。興味のあるものを見つけると、人の話が聞こえないほど夢中になってしまう。また、片付けが苦手な掃除が嫌いなので、友達にも私にも、度々お目玉をもらうことになる。そんな時、言葉の少ないA男は、上目遣いにうなづくのだ。そのかわいらしさに、みんななんとなく許してしまう。

ある朝、A男と同じ通学班の子が、もう我慢できないという様子で言い出した。

「A君ね、朝ね、葉っぱ取りながら来た。虫もつかん

どつたよ。毎日班長が注意しても全然聞かないもん。」この言葉をきっかけに、あちらこちらから「そういえば……。」とA男批判の声があがる。

「A君の心は好奇心で一杯なんだね。小さいものもよく見てるからすてきだよ。でも、今はどんな時か考えられると、もつとすてき。もつと好きになっちゃう。」子供たちが笑う。A男も恥ずかしそうに笑った。

その日の帰り、教室掲示をしている私を、A男は黙って手伝ってくれた。ぽつりと、「今日、伊賀川行く。あつ、ちゃんと帰ってから。」

A男のポケットには、好奇心がたまっている。



同師行弟

相談のできる先生

矢作中学校

新實 克之

「心配するな、誰でも失敗はある。大切なのは次からだ。」

当時は給食がなく、パンを注文する係がいました。その注文を私が忘れてしまったのです。泣きそうな思いで先生に相談すると、この言葉が返ってきました。

私は、急いでパンを買い、みんなに配りました。きつと先生が学級のみんなに事情を話してくださったのでしよう。級友は私を責めることはありませんでした。思えば竹内先生は、生徒の気持ちや学級をととても大切にしてくださいました。

学級活動もアイデアを生かした楽しいものにしていただきました。先生のアコーデイ



オンの伴奏によるフォークダンス、グループ日記や新聞作り、学級文集など……。私だけでなく葵中二年七組のみならず、私も安心して、楽しく過ごせたと感じています。

そして望外の喜びは前任校で一緒だったことです。何でも相談のできる先生は昔と変わっていませんでした。先生の前に立つと中学生に戻ってしまう私ですが、それがまたうれしくもあるのです。

先生、いつまでもお元気で、そしてご指導ください。

びと楽しい学級でした。残念なことには翌年、私は再び二年生担任に下がったので、たった一年だけのかかわりでしたが、あなたの方の組には思い出がたくさんあります。クラスには個性の強い生徒が多かった中で、あなたははぐそ真面目でしんの強い、それでいて明るく思いやりのある生徒だったと記憶しています。

しかし、あなたの印象は、むしろあなたが教師の道を選び、奇しくも同じ職場に勤務した時のことです。あなたはいつも生徒の立場に立って、斬新な学級経営を進めてくれました。しかも、周囲に気を配る昔のあなたは変わっていませんでした。一度世間の風にあたり、後に苦学して就職に就かれたせいかもしれませんが、他の教員にない信頼感を感じ、担任したことをとても誇りに感じました。

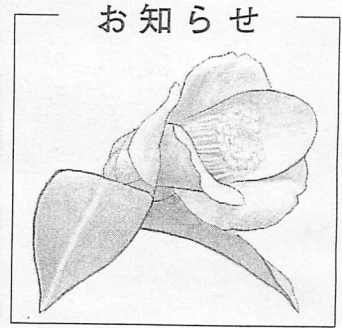
今後、あなたの持ち味の純粋さと人を気遣う気持ちを失わず、岡崎の教育のためにご努力くださることを期待いたします。

自分の持ち味を失わずに

岡崎少年自然の家所長

竹内 昭次

あれは教職七年目、青春の真ただ中でした。あなた方の二年七組と八組は他の組と隔離された北校舎で、のびの



お知らせ

◆岡崎市教育委員会名簿

委員長 杉山 光
委員 鈴木 聡一
委員 杉浦 壽康
同職務代理者 鈴木 聡一

委員 仲井 さち
教育長 伊豫田 壽夫
◆第二十九回愛知県野生物保護実績発表大会

県知事賞 生平小学校
県教育委員会賞 美合小学校
東海中学校

◆私のアイデア貯金箱コンクール
全国貯金局長賞

井田小二年 今岡 美晴
三島小四年 伊藤 安美
連尺小五年 赤松 史織
◆第五十一回赤い羽根協賛児童生徒徒作品コンクール

書道の部
一席 常磐中三年 今井ゆかり
秀逸 岩津小五年 宇野萌子
ポスターの部
秀逸 梅園小六年 木村由佳

第38回岡崎市小学校陸上競技大会

総合	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	
男子	梅園	岩津	大樹寺	岡崎	北野	本宿	
女子	三島	北野	矢作南	矢作北	岡崎	竜美丘	
	種目	選手名	校名	記録			
男子優勝	5年100m	加藤 駿	根石	14"3			
	100m	坂口 大	岩津	13"2			
	80mH	蟹井 正士	梅園	12"5			
	1000m	小無田 朋宏	福岡	3'11"8			
	走り幅跳び	小塚 宏晃	大樹寺	4m64			
	走り高跳び	三浦 時央	岡崎	1m42			
	ソフトボール投げ	柴田 裕生	本宿	69m00			
	400mR	前坊・蟹井 井上・長尾	梅園	55"3			
	女子優勝	5年100m	伊藤 友希	三島	14"8		
		100m	内田 美由樹	北野	14"5		
80mH		岩脇 真奈美	矢作南	13"3			
1000m		棚林 ゆかり	上地	3'27"4			
走り幅跳び		倉田 美咲	井田	4m00			
走り高跳び		内田 麻湖	六ツ美北	1m25			
ソフトボール投げ		岩附 可奈子 伊藤・伊藤 永田・大久保	六ツ美西 三島	47m50 59"3			

◆第四十二回中部日本吹奏楽コンクール

神納杯・浜松市教育委員会賞
竜海中学校

◆第五十二回全日本合唱コンクール中部大会

金賞 六ツ美北中学校

◆フードメッセイン岡崎'99料理コンテスト

市長賞 城北中二年 伊豫田 修

市議会議長賞 城北中二年 佐野 圭美

市教育委員会賞 城北中二年 新田 哲也

◆平成十一年度FBC県秋花壇中央審査

優良校 六ツ美中部小学校
奨励賞交付校 細川小学校
三島小学校

第43回愛知県統計グラフコンクール

小学校1年～2年の部 金賞

竹田 朋加	三島小 2年
南谷 麗	三島小 2年
蟹江 遥	矢作東小 1年
森下 藍	矢作東小 2年

小学校3年～4年の部 金賞

見並 克俊	竜美丘小 4年
朝倉 舞	竜美丘小 4年
市野 真夕	竜美丘小 4年
渋民 彩香	矢作東小 4年
鈴木 綾乃	矢作東小 4年
蟹江 遼	矢作東小 4年

小学校5年～6年の部 金賞

荒井 浩介	竜美丘小 5年
石川 瑠美	竜美丘小 5年
鈴木 菜穂子	竜美丘小 6年
鈴木 瑤子	竜美丘小 4年
鈴木 里奈	連尺小 6年
田村 聡実	六ツ美西小 5年

中学生の部 金賞

杉木 智美	美川中 3年
見並 良治	竜海中 2年
角谷 枝里子	岩津中 3年
工藤 夕佳	六ツ美北中 3年
山村 明日美	
鈴木 麻奈美	
新保 梢	

パソコンの部

佐々木 優	矢作南小 6年
大木 雅智	
白石 明日香	矢作南小 6年
筒井 弘巳	
三田 友希	城北中 2年
深津 菜美子	

第32回岡崎市中学校新人総合体育大会

種目	性	優勝	2位	3位
陸上競技	男	東海	竜南	城北
	女	六ツ美	矢作北	矢作
バスケットボール	男	竜海	城北	竜南
	女	竜海	岩津	竜南
バレーボール	男	竜南	矢作北	六ツ美
	女	矢作北	北	岩津
ソフトテニス	男	甲山	新香山	矢作北
	女	常磐	福岡	矢作
卓球	男	六ツ美北	河合	常磐
	女	矢作	美川	竜海
体操	男	竜海	甲山	
	女	南	東海	矢作北
新体操	男	甲山	東海	南
	女	城北	六ツ美北	甲山
剣道	男	城南	六ツ美北	東海
	女	南	六ツ美北	甲山
ハンドボール	男	葵	竜南	六ツ美
	女	竜南	葵	六ツ美北
軟式野球	男	矢作北	南	矢作
	女	矢作北	城北	矢作
ソフトボール	男	六ツ美北	甲山	竜南
	女	六ツ美北	甲山	竜南
サッカー	男	竜南	南	北
	女	竜海	南	城北
水泳	男	竜海	南	城北
	女	竜海	附属	城北

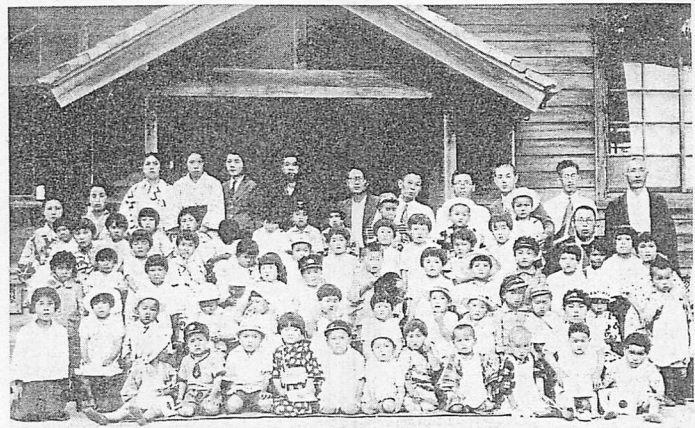
▲市統計グラフコンクール市長賞受賞作品

・カ
ット

竜海中 金澤 一幸

フォト・ヒストリー 岡崎の教育

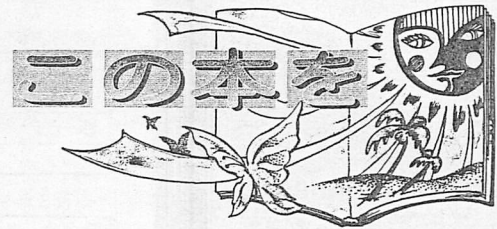
託児所となった小学校 (昭和13年)



写真提供 生平小

国策により食糧増産が奨励され、田植えや稲刈りの時期には、学校でも農繁休業をとり、高学年の児童は農業の手伝いをした。村ごとに共同作業をするため、低学年の児童や幼い子は、託児所に預けられた。臨時の託児所となったのが小学校や寺であった。写真には当時の校長先生や職員・寺の住職が写っている。

春は六月、秋は十月に三・四日の連休を二回ずつとっており、昭和三十二年ころまで続けられた。



- *子どものころをひらく 下山田裕彦 ¥840
霞出版社
- *8時だヨ!全員集合伝説 居作 昌果 ¥1400
双葉社
- *ボーダーライン 真保 裕一 ¥1700
集英社
- *コロンプスの贈り物 服部 幸應 ¥1400
PHP

- *四人はなぜ死んだのか 三好 万季 ¥1143
文藝春秋

和歌山毒入りカレー事件を新聞で知った中学3年生の著者が、カレーと食中毒の関係に疑問を持ち、夏休みの理科の宿題としてまとめた。

「インターネットで追跡する『毒入りカレー事件』」と副題にある。インターネットを駆使し、情報のほとんどをインターネットから得ている。

現実 はてんやわんやだったが、先入観なしに、冷静にきちっと正論でとらえている点、徹底した調査、優れた言語力、どれをとっても凄い。

尾を振りながら近寄ってくる犬の頭をついついなでてしまう。犬の能力を引き出すためには、愛情をもってほめることが大切だという。

「いい子、いい子」と頭をなでられると、思わず頑張ってしまう自分は大とあまり変わらない。

色彩豊かなクリスマスツリーが街にやって来た。なぜか見ているだけで心が温かくなっていく。最近では自宅の庭にイルミネーションを見ることが多くなった。恋人たちのクリスマスから、家族へのクリスマスに変わってきたのだろうか。

オアシス

暗中模索の中から開発されたハイブリッドカー。その陰には、新しいもの作りにかけた人たちの生きざまが見えてくる。苦しみが多ければ多いほど、やり遂げたときの喜びは大きい。「情熱」という人間の持つ大事な宝物を、ずっと持ち続けたいものだ。

すずみ（稲わらを積んだもの）で遊びながら父母の農作業を見ていた記憶がよみがえる。猫の手も借りた農繁期、子供は貴重な働き手であった。学校も託児所となってその一助を担っていた。いつの時代にも地域と密接にかかわった学校の姿をここに見る。